

平成３０年度 新規事業候補箇所の選定について

平成３０年 ３月 ８日

国土交通省 四国地方整備局

平成30年度 新規事業候補箇所の選定の考え方【一般国道（拡幅・バイパス）】

1. 四国地整の一般国道全線(約1,278km)
 ①平成27年度全国道路・街路交通情勢調査の区間毎に分割
【880区間】

2. 現道課題の大きい箇所の抽出
 ①交通課題 主要渋滞箇所を有する区間(129区間)
 事故危険区間を有する区間(600区間)
 ②道路構造 急勾配、急カーブ箇所を有する区間
 (322区間)
 ③防災・災害 要防災対策箇所、事前通行規制等及び
 津波浸水想定区間を有する区間(351区間)
【729区間】

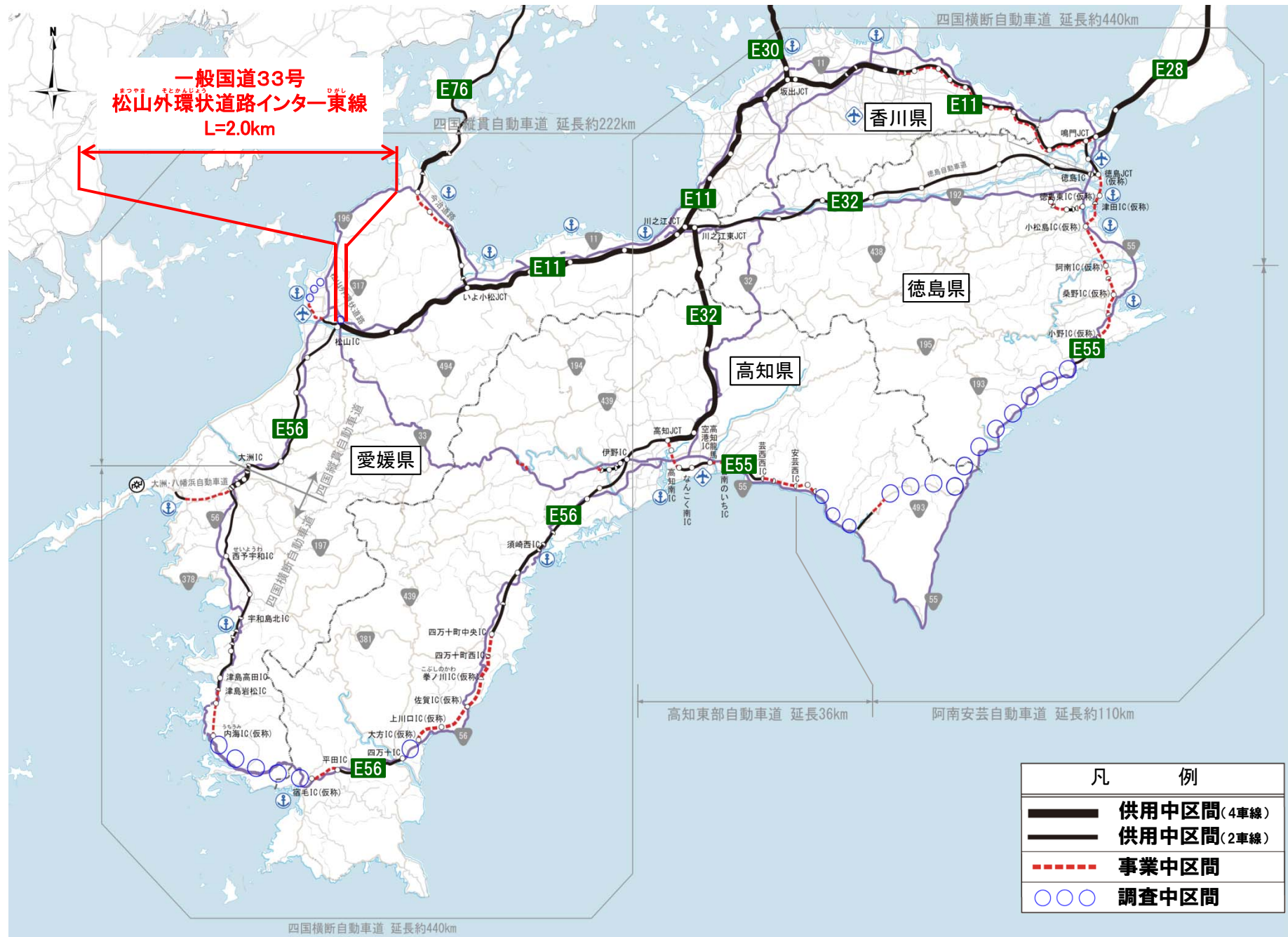
3. 課題解消に向けた改築事業未実施の区間
【426区間】

4. 事業実施環境等の確認
 都市計画決定、環境影響評価等の事業実施環境が
 整った区間から、各事業の事業効果や緊急性、社会的情
 勢、予算の状況等を踏まえ、新規事業箇所を選定。
【4区間(1箇所)】

平成30年度 新規事業候補箇所の選定結果
 一般国道33号 松山外環状道路インター東線

課題	指標		
①交通課題	渋滞	・主要渋滞箇所を有する区間	各県渋滞対策協議会において特定された箇所
	事故	・事故危険区間を有する区間	各県道路交通環境安全推進連絡会議等で特定された箇所
②道路構造	急勾配 急カーブ	・縦断勾配 5%以上 ・曲線半径 150m以下	道路構造令の規定
③防災災害	要防災対策箇所	・要防災対策箇所を有する区間	防災点検結果
	事前通行規制区間等	・異常気象時の事前通行規制区間を有する区間 ・過去5年間に災害が発生し、全面通行止又は片側交互規制を実施した区間	通行止実績 等
	津波浸水予想区間	津波浸水区間を有する区間	各県発表の津波浸水想定

平成30年度 新規事業候補箇所の選定の考え方【一般国道（拡幅・バイパス）】



凡 例	
	供用中区間(4車線)
	供用中区間(2車線)
	事業中区間
	調査中区間